



**協立電機株式会社**

2022年6月期決算説明会

2022年9月8日

## イベント概要

---

[企業名]	協立電機株式会社
[企業 ID]	6874
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 6 月期決算説明会
[決算期]	2021 年度 通期
[日程]	2022 年 9 月 8 日
[ページ数]	32
[時間]	13:20 – 14:05 (合計：45 分、登壇：45 分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 2 階 第 2 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	145 m <sup>2</sup>
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 代表取締役社長 西 信之 (以下、西)

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 登壇

西：こんにちは。協立電機の社長の西と申します。第 64 期の決算説明並びに IR を始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

当社、協立電機でございますが、最初、会社の概要と、次に業績、それから製品につきましてご紹介、こんな順番でご説明させていただきたいと思います。

エレクトロニクスの未来を考える技術の・・・



# 協立電機

## 会社概要



- ・設立年月 1959年2月
- ・資本金 14億4,144万円（2022年6月末現在）
- ・代表者 取締役社長 西 信之
- ・社員数 連結815名、グループ計(除パート) 1,703名（2022年6月末現在）
- ・事業所 本社/静岡、東京、仙台、宇都宮、つくば、相模原、神奈川中央、御殿場、沼津、富士、島田、袋井、浜松、豊橋、三河、名古屋、高岡、関西、神戸、岡山、福岡、熊本、日南、鹿児島、中国(上海、深圳、南通)、タイ(バンコク)、カナダ(トロント)、マレーシア(クアラルンプール・ペナン・ジョホールバル)、インド(ムンバイ・バンガロール・ニューデリー・グジャラート)、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)、インドネシア(ジャカルタ)、フィリピン(マニラ)
- ・事業内容 インテリジェントFAシステム・ITシステムインテグレーション・ネットワーク型生産管理システム  
電気制御工事 開発・設計・製造・販売・メンテナンスサービス

・上場市場



東証スタンダード（証券コード 6874）

・単元株

100株

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

2 / 24

協立電機、何をやっている会社かというところでございますが、インテリジェント FA システム、どうも片仮名やら横文字が多くて分かりづらいですが、ファクトリーオートメーション、工場の自動化と IoT を融合したジャンルの仕事、そのようなものをやらせていただいております。ですから、お客様の 93%が、いわゆる製造業のお客様。残りの 7%も官公庁、あるいは電力、ガスといったような会社様でございますので、ほぼ 100%製造業のお仕事をさせていただいているかと思いません。

## サポート

日本

050-5212-7790

米国

1-800-674-8375

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス

support@scriptsasias.com



大きく分けまして、その製造業に関しまして、生産ラインの自動化、それから新製品の研究開発のお手伝い、それから、いわゆる製品の試験装置、そのようなものをつくらせていただいております。

大体グループ全体で1,700名ぐらいでございまして、コンピュータのシステムを組むシステムエンジニアが大体300人弱、それから、開発部隊が80人前後、日本語が全く読み書きできない人、要は現地の方が200人弱、そのような感じでございます。

## 沿革



- 1957年 静岡市にて創業
- 1982年 創業社長急逝 西雅寛前社長就任 年商14億、社員50名
- 1983年 エンジニアリング本部(システムハウス部門の拡大)  
FAと情報処理の中間領域(インテリジェントFAビジネス)に注力開発型ビジネスに転換
- 2001年 「協立テストシステム」を設立(基板検査を集約)  
「協立電機・タイ」、「協立電機・マレーシア」、「協立電機シンガポール」をM&A、連結売上163億円
- 2002年 「上海協立控電子」、「協立電機(上海)有限公司」、「上海協立科迪測試系統有限公司」設立
- 2004年 「協立電機カナダ」設立、連結売上200億円
- 2008年 日本内部統制大賞優秀賞受賞。「協立電機インド」設立、連結売上280億円、社員961名
- 2009年 「協立エンジニアリング・タイ」設立
- 2011年 「協立電機ベトナム」設立、「中国・南通サポートセンター」開設
- 2013年 「協立電機インドネシア」設立、協立電機タイ新工場設立。
- 2014年 「協立電機フィリピン」設立
- 2015年 エネマネ事業者に採択。  
西雅寛社長急逝
- 2016年 西信之社長就任。
- 2017年 R&Dセンター、テクニカルセンター開設
- 2018年 協立電機ベトナム・ホーチミン支店開設
- 2022年 「協和サンシンエンジニアリング」設立

**連結売上283億円 社員1,703名**

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

3 / 24

沿革でございますが、1957年に静岡市において創業いたしました。初代の社長が、実は私の父でございます。私が社長になって8年目でございますが、その前の社長は兄でございます。兄が、実は突然死んでしまいまして、私が社長をやらせていただいております。

ただ、突然落下傘候補で下りてきたわけではなくて、それまでも技術部門、あるいは東京の支社長をやっておりましたので、知見や何かはあるのではないかと考えております。

ご覧の沿革の中で、赤い丸で囲ったところが海外の拠点です。先ほど申し上げました、製造業のお客様を中心にお仕事をさせていただいている、となりますと、日本から海外に出ていく、これが必

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



然的な流れになってきている、そう思っております。昔は、言い方は失礼ですが、いわゆる製造現場そのもの、これは海外に出ていく。研究・開発・設計、そういった付加価値の高いものは国内に残っている、そう思っておりましたが、どうも最近、それも全て海外に出始めています。

もうキーワードは一つでして、現地に合ったものを現地で作ると。多分これは最初に始められたのが SAMSUNG さんじゃないかと思えます。例えば冷蔵庫一つとりまして、インドに行きますと、なぜか知りませんが、インドの方は、あまり生野菜を召し上がらない。だから、野菜室はそんなに要らない。中国に行きますと、いわゆるラーメン丼みたいな色じゃないと受けが悪い。アメリカに行きますと、巨大な冷凍庫がないと、もう売れない。そんなところがあるようでございます。ですから、それに合わせてやっていかざるを得ない。これは、いい悪いではないと思っています。

当社のビジネスの一つのリスクでございますが、やはり海外に出るスピードがお客様に負けたとき、もうちょっと分かりやすく申し上げます。今、東南アジアには拠点がいくつありますが、南米、あるいはアフリカにはございません。ちょっと極端な言い方ですが、来月にお客様のみんなが、南米あるいはアフリカに行ってしまうと、これはもう大変な騒ぎになります。そこを常に見ていかなければならないと同時に、海外の拠点もスクラップ・アンド・ビルドをしていかなければならない。

例えば 2001 年に初めて海外拠点の進出を始めたわけでございますが、このときはタイとマレーシアとシンガポールにつくりました。今、実はシンガポールの拠点はございません。なぜかといいますと、もうシンガポールは金融の国になっちゃったんですね。われわれのお客さんは一つもないとは申し上げませんが、もうこれは置いておくのはいかがなものかと。むしろマレーシア、もともとシンガポールと同じ国で、そこにジョホールバルというところがございます。国境沿いで、そこに拠点があるので、そこから見させていただければいいんじゃないかと、そういったところでシンガポールを閉めました。

その他、いろいろとご覧のようにつくってまいりました。例えば、ベトナムにおきましては、ちょうど 10 年ですが、それまでハノイにしかなかった拠点をホーチミンにも増やしました。海外の拠点で一番拠点多いのがマレーシアだったんです。マレーシアが、ペナン、クアラルンプール、ジョホールバルにございますが、実は今年の 10 月からインドが一番拠点多くなります。インドがニューデリー、ムンバイ、アメダバード、バンガロール、そしてプネになります。やはりインドは人が増えておりまして、いずれ中国を抜いてしまう。となりますと、やはり人が増えているということは、やはり成長していつているということなのかもしれません。ちょっと実感しているところではあります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





東京証券取引所 表彰式

## 当社のCSR(企業の社会的責任)活動

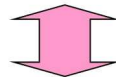
日本内部統制大賞(Integrity Award)  
2008年優秀賞受賞

身丈背丈に合ったCSR遂行体制



①地球環境との調和→ISO14000環境マネジメントに基づく活動

②コンプライアンスの推進→マニュアル化(CR管理委員会)



ステークホルダーからの信頼・支援

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

4 / 24

これが、私どもが内部統制大賞をいただいたときの写真でございます。ここに写っているおじさんが私の兄の2代目の社長でございます。ちょうどこのとき、セブン&アイ・ホールディングスさんと一緒に受賞させていただきました。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

・主なグループ企業

連結対象  
8社

協立機械株式会社	(産業機械、メカトロFAの開発・販売)
協立テストシステム株式会社	(半導体基板検査装置の開発・製造・販売)
株式会社アニシス	(産業機械・専用機械 機工の設計・製作)
東海システムサービス株式会社	(ソフトウェア開発、ユーティリティ管理、運営)
協和サンシンエンジニアリング株式会社	(制御システムの設計・製造、電気工事施工)
アプレスト株式会社	(FAセンサー、各種自動制御装置のインテグレーター)
第一エンジニアリング株式会社	(FA機器、加工機、制御盤の設計・製造・工事)
SKC株式会社	(FA機器の製造・販売)

非連結  
15社

電子技研工業株式会社	(レーザードップラー応用機器、高速密閉体測定器の開発・製造)
株式会社メック	(測定機器、情報制御機器の販売)
株式会社イーアンドエムシステム	(産業機器の製造・保守)
静光電機工業株式会社	(制御装置の製造・販売)
株式会社アイメス	(FA機器の設計・製造)
協立電機(上海)有限公司 協立商貿易(深圳)有限公司 協立電機カナダ 協立電機マレーシア	協立電機タイ 協立エンジニアリング・タイ 協立電機インド 協立電機ベトナム
	協立電機インドネシア 協立電機フィリピン

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

5 / 24

現在、グループ会社がワールドワイドも含めて 23 社あり、うち連結が 8 社です。この 23 社をどう分類するのか。いろいろと分け方はあると思うのですが、一つが、いわゆるものの売り買いをする商社の一団、それからものを製造するメーカーの一群、それから現業という言い方をしているのですが、工事をやるとか、あるいは現場でアフターメンテナンスをやるといった、現場の作業が中心になるもの、この三つに分かれまして、その真ん中に協立電機がいると、そんなようなイメージをもっていただければ幸いです。

なぜ 23 社もあるのか。一つは、海外の現法というのがあるのですが、もう一つはわれわれのビジネス、「One Stop Shopping」という言い方をしているのですが、何かというと、お客様が欲しいのは、工事でもなければ、ソフトウェアでもなく、ハードウェアの製作でもなく商社機能でもない。欲しいのは結果です。それをグループの 23 社が、寄ってたかってと言うと語弊がありますが、ご提供できるようにする。

どういうことかという、ファクトリーオートメーション業界のスーパーマーケットと、ちょっと今、イメージがあまりよくないのかもしれませんが、それをやってみる。私の母の時代は、例えば、夕ご飯を作ろうと思うと、まず八百屋さんに行って野菜を買って、次に魚屋さんに行く。いい

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

お魚がないわというので、今度は肉屋さんに寄って、そこで肉を買ってから乾物屋さんに寄って帰ってくる。

ところが、スーパーマーケットができてから、全部そこで事が足りてしまうんですね。そして、また安い、便利なんです。安いというのは購買力の問題もあるのでしょうけれども、お客さんにとって非常に便利。これはどうも、リーマン・ショックが日本において一つの契機だったんじゃないか、そんな気がしています。

どういふことかと申しますと、それまでは、お客さんご自身で設計をされ、ここはあなたの会社、ここはあなた、ここはあなたの会社と、分離発注されていたんです。リーマン・ショックで人が減ってまいりました。そのノウハウの継承が必ずしもうまくいかなかった。そうしますと、全部丸投げと言うと失礼な言い方になりますが、できるところが欲しいというところで、一つのニーズができたのではないかと、そう思っております。

この「One Stop Shopping」、やる方にとってもメリットがあります。どういふことかという、例えば非常に僭越な言い方ですが、20人のソフトハウスさんとわれわれが価格競争をして、勝てるはずがないんです。その20人のソフトハウスさんがハードウェアを作るか、工事ができるかという、実はできないわけです。ですから、そういったものを全てお客様にご提供できるような存在になろう、これが「One Stop Shopping」の意味でございます。

こうしてやっていきますと、ベンダー側のメリットといたしまして、先ほど申しあげました価格競争のメリットもありますし、もう一つ、お客様は、コスト構造がよく分からなくなります。ですから、そういったところにわれわれの売りがあるのかなと思っております。

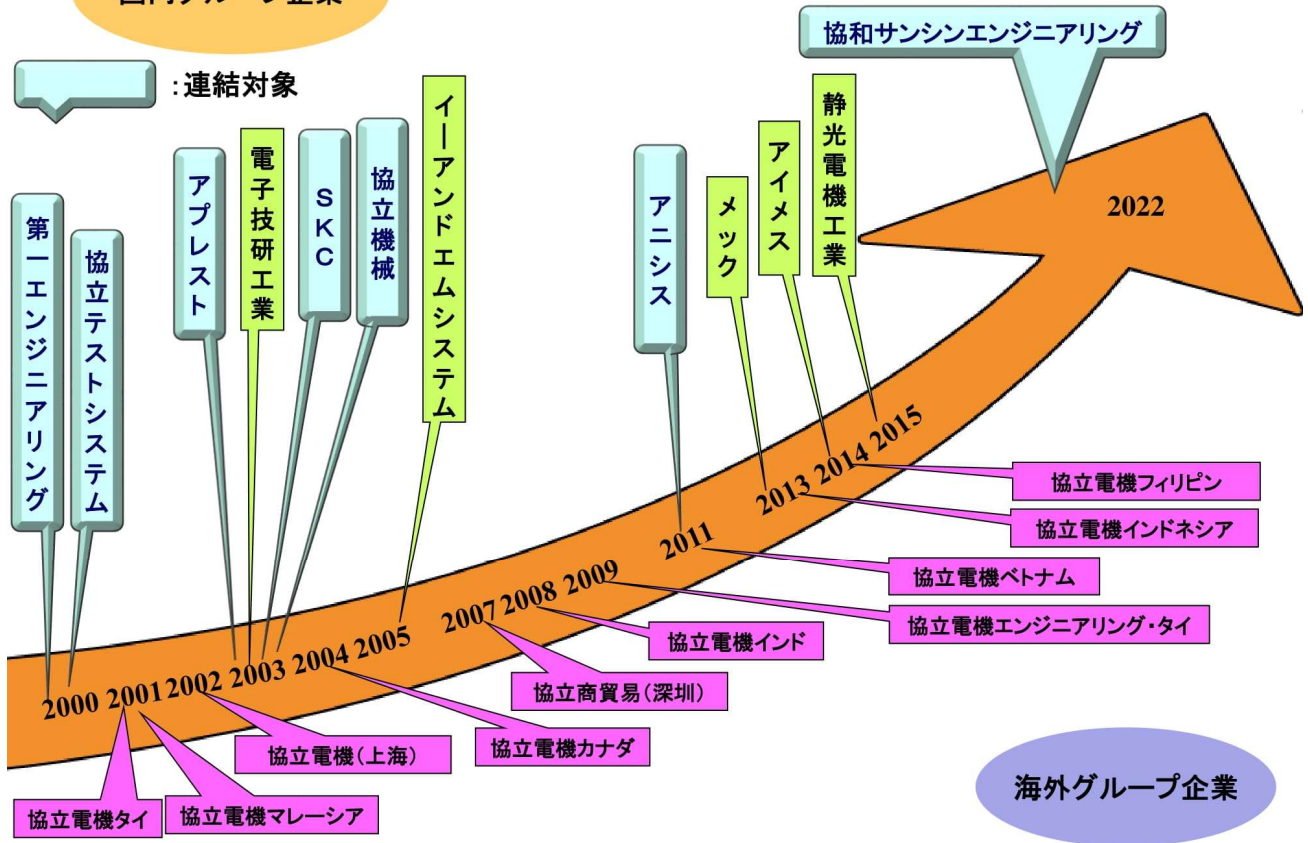
---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## M&A推移



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

6 / 24

これが、M&Aの推移でございます。この何年か、ちょっとM&Aの手数料が上がり過ぎちゃっているのを抑えているのですが、また始めようかなと思っております。23社、やはり1からつくのではなくて、いろいろなM&A等を通じてグループに入っていた会社がいっぱいございます。

ここで、よく皆様からご質問を頂戴するのですが、おまへのところは海外比率はどのぐらいあるんだと。これは別に隠しているわけじゃないですが、例えば某自動車会社様、田町に本社がある会社、田町から日本円でご注文書が出て、水島の工場、水島の製作所に半年間入れて様子を見て、それからインドネシアに持って行く。あるいは静岡の浜松に本社がある自動車会社様からご注文を円でいただく。だけど、最終納入地はインドであると、そういったものがあります。

本来、これは為替リスクがありませんので、国内の商売とカウントするべきなんですけど、われわれは実際の最終据え付け、最終調整地である海外と、このように捉えています。それでちょっと海外比率をご公表していないというのは、そういう訳でございます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com



海外の仕事で、今申し上げました為替リスクがあります。それから、政治のリスクもあります。ロシア、あるいは、ついこの間のミャンマーに至ってはクーデターが起きてしまって大変な騒ぎです。もう一つ、文化のリスクがあります。どういうことかということ、例えばインド、こちらはイギリスの植民地でいらっかった時代が長かったので、欧米流の契約の概念が非常にしっかりしていらっかいます。その代わり、油断ならないのが、基本契約は口頭でして、ああ、OK となったら契約書が出てきて、そこに署名するわけですが、出てくる契約書が、ドラフトと違うものが出てくるんです。よく読まずにサインするおまえがバカだと言われたらそうですが、やはり油断がならない。

中国に至っては、例えばわれわれは日本の会社ですから、ここはやって、ここはやらないというのを決めてお邪魔します。当然のことですが、やると決めたものはしっかりやらせていただくんですが、終わったとその後、お客様が、やらないと決めたものをやれと言われるんですね。いやいや、これはやらないと決めたじゃないですかと申し上げると、あのときはそう思っていた、今は違う、やれと。じゃないと金払わないみたいな話がありまして、これは後から分かったんですが、要はおねだりなんですね。そういったものがいろいろあります。やはりそこに対応していかなきゃいけない。いい悪いじゃなくて。

例えば、京葉線に舞浜という駅がございますね。ディズニーランドに行くときに下りられる駅。あれは、なんでディズニーランド前って言わないか皆さんご存じでしょうか。あれ、ディズニーランドが後からできたんじゃないですよ。もともと貨物線ですから、駅があったんです。そこにディズニーランドができるというので、JRさんがディズニーランドに行って、ディズニーランド前という駅をつくらうと思いましたがどうですかと言ったんですね。

ディズニーランドさんが、ありがとうございます、ぜひお願いします。ついては、名前の使用料、何千万円くれと、そういう話になりまして、JRさんはびっくりしちゃって、あなたのために駅をつくるんですよと言ったら、ディズニーランドさんが、すかさず、それでお宅はもうけるでしょうと、これは文化なんですね。いい悪いではない。

そういった方々と、われわれはこれからも商売をしていかざるを得ないというところだと思いません。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 業績推移(連結)



決算期	2019/6 実績	2020/6 実績	2021/6 実績	2022/6		2023/6 計画
				実績	達成率(%)	
売上高(百万円)	34,125	32,060	27,294	28,331	88.3	32,500
営業利益(百万円)	2,174	1,992	1,247	1,510	75.5	1,750
経常利益(百万円)	2,251	2,052	1,381	1,603	76.4	1,800
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,390	1,279	864	1,063	81.8	1,200
総資産経常利益率(%)	9.9	8.6	5.7	6.5	-	-
売上高経常利益率(%)	6.6	6.4	5.1	5.7	-	-
自己資本比率(%)	50.5	52.8	56.1	56.2	-	-
自己資本利益率(ROE)	12.4	10.4	6.6	7.6	-	-
株価収益率(PER)	6.99	6.51	9.77	7.4	-	-
株価純資産倍率(PBR)	0.82	0.65	0.63	0.55	-	-
1株当たり期末配当	60.00円	55.00円	55.00円	55.00円	-	65.00円
配当性向	17.4	17.3	25.6	20.8	-	21.8
配当利回り	2.4%	2.7%	2.6%	2.8%	-	-

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

7 / 24

業績でございます。今のところ、3期前の61期だったのですが、そこが最高でして、売上、利益の。まだ実はそこに追い付いておりません。当社は研究開発型の企業でございます。今、ご存じの半導体不足がすごいですね。ですから、ものが入ってこない。ものにつくれないんです。結構、受注はおかげさまでいっぱい頂戴いたしまして、たまっているんですが、半導体が出てこないものから、売上に結びついていかない。

私、先ほど申し上げましたが、社長をやらせていただいて8年たちます。その中で受注残高がこれだけたまっているのは過去最高でございます。大体20年6月期が、7月1日始まったときに65億円ぐらいで、21年6月が70億円ぐらいだったんです。今年の6月が終わったところでは130億円、2年分たまっております。そのようなところでございます。

先ほど申し上げました研究開発型でございますので、必ずしも全ての開発がうまくいかない。むしろ失敗のほうが多いです。10テーマがあったと仮にしますと、成功するのは、よくて二つから三つ。後の七つから八つは、みんな失敗です。

## サポート

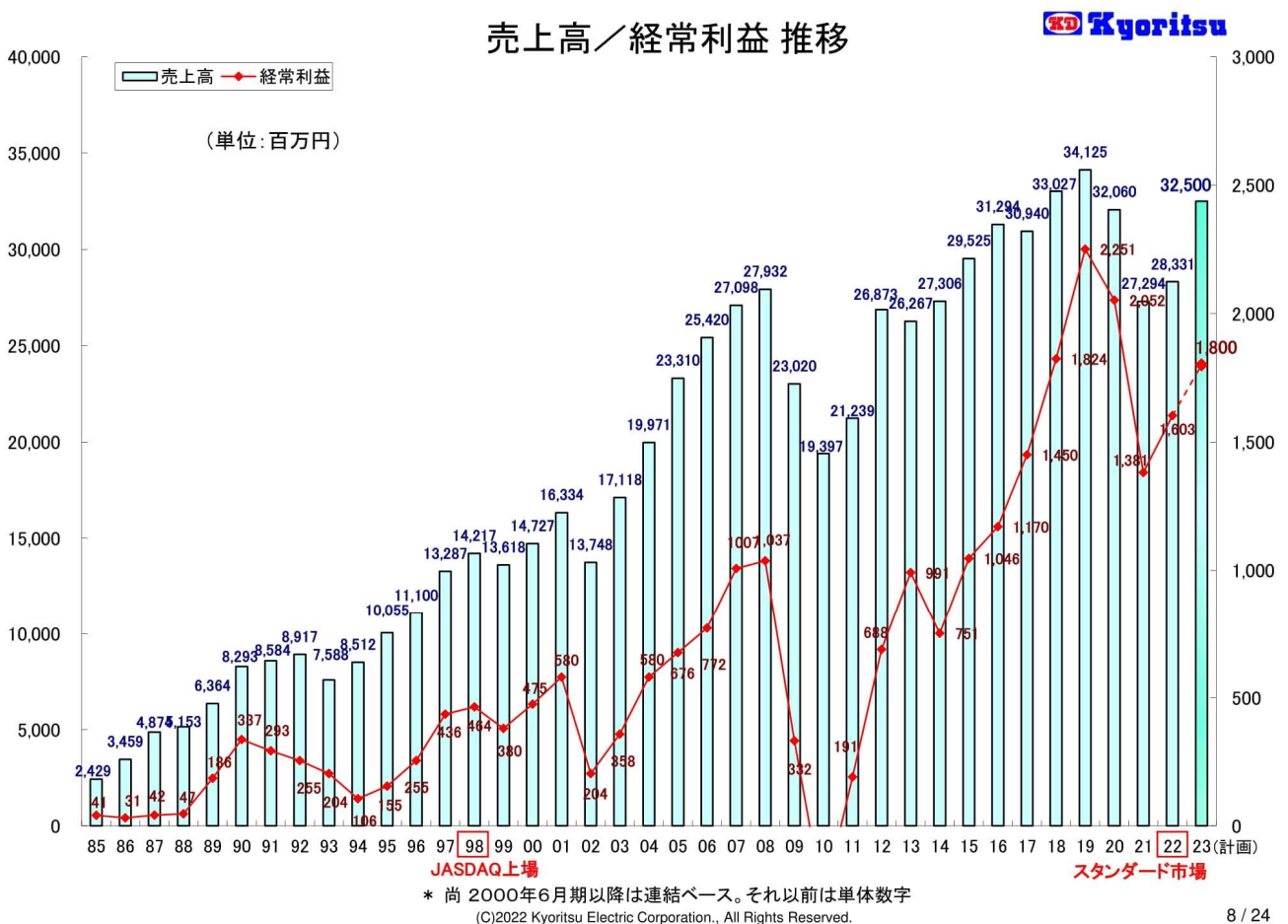
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



じゃあ、失敗は意味がないのかというと、実はこれが私どもの財産です。こうやっていくとこういう結果に出るとというのが分かりますと、その後、新しい研究、新しい開発をするときに、効率が良くなります。この二つ、三つの成功を、四つ、五つにすべく努力はしますが、多分、七つ、八つは絶対に成功しません。ですから、よくこのコロナ禍が始まる前、アナリストの皆さんからお叱りを頂戴したのは、比較的自己資本比率が高いことです。これは、先ほど申し上げましたように、研究開発が必ずしも全部成功しないので自己資本を厚くしておかないと大変なことになると。

コロナが始まる前は、そんなに自己資本が余っているんだったら配当を出せ、自社株買いをしろと、随分お叱りを頂戴したんですが、そういった事情でございます。

PER、PBR、これがご覧のような数字だということは、やはりまだまだ私も努力が足りない、何をやっているか訳が分からない会社だということもあるのかもしれませんが。そこは、この後もこういう機会を通じて、皆様にお知らせしていきたいと思っています。



売上高と経常利益の推移でございますが、パソコンと下がっています。真ん中にあるのがリーマン・ショック、右側にあるのはコロナ、そんな感じでございます。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



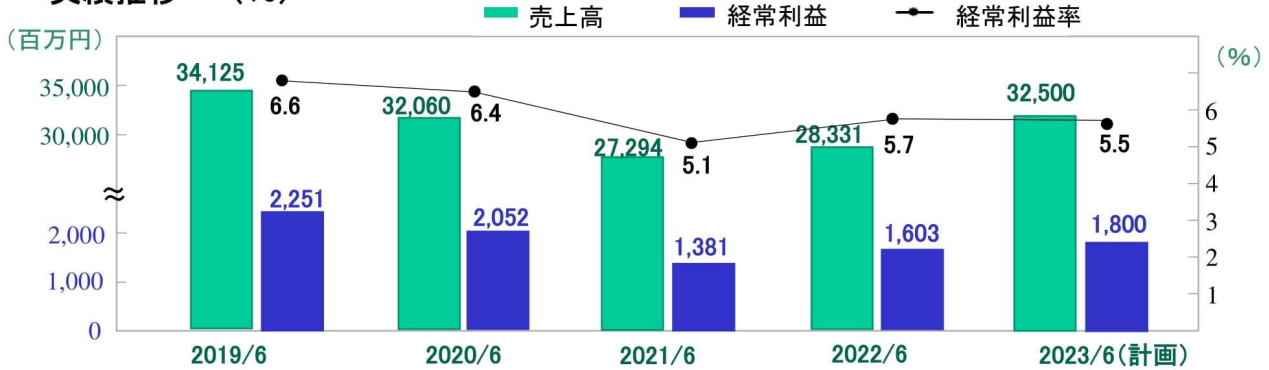
# 経営指標



## 【連結売上高経常利益率】

目標 9%

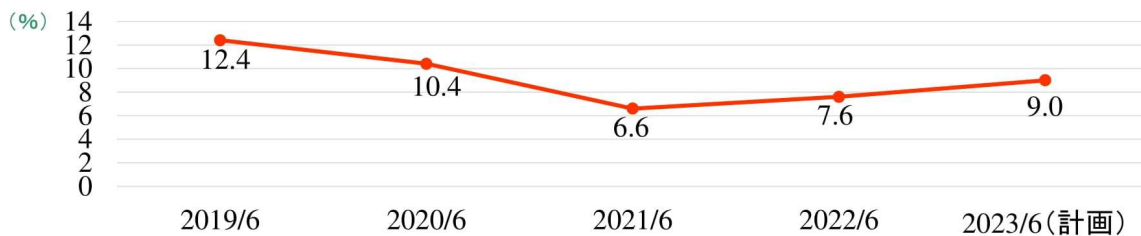
### 実績推移 (%)



## 【自己資本利益率 (連結ROE)】

目標 15%

### 実績推移 (%)



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

9 / 24

これは売上高経常利益率ですが、われわれはお客様の設備投資、あるいは研究開発に携わっております。そうしますと、1年間で見ればまだしも、必ずしも四半期毎にちゃんと売上が上がってくることは実はないんです。いわゆる期ズレが発生します。そうしますと、非常にばらつくという語弊があるのですが、暴れてしまうことが多々あります。

もう一つ、われわれの商売、先ほど申し上げました、工場の生産現場の自動化という話を申し上げましたが、となると、お客様から見ますと、製造業のお客様にとりまして、生産現場はある意味命ですから、聞いたことがない会社にポンとやらせるのはとても不安がある。ですから、われわれは非常に新規のお客様を開拓するのに苦労しています。

どうするんだという話ですが、大きく分けて三つあります。

一つは、日本って面白くて、業界によって必ずしもそうでもないですが、同業者組合みたいなものがあるんですね、そこでご紹介をいただく。

それからもう一つが、われわれの海外で仲良くしているお客様と国内で仲がいいお客様は、必ずしも一致していません。そこに、人事異動があります。タイに行かれた方が日本に帰ってくる、ある

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



いは日本の方がインドネシアに行かれる、そうしますと、そこを追いかけて、お取引を頂戴する訳です。

それから三つ目ですが、例えば、第1期、2期、3期とあったとします。そうすると、第1期、多少値段を無理しても取ることがあります。なぜか。第1期を取らないと、第2期、第3期が取れないんですね。第2期、第3期を取って1期分を返していただくというと失礼ですが、われわれとしてはそこで取り返しているというところがございます。お客様には言えない話ではございますが。

その第1期を取るときに、例えばこのラインに30台のある種の機械が必要だと、そういうケースが仮にあったとします。でも35台目は要らないと。そういったとき、われわれ実をつくってしまいます。なぜつくるかと言いますと、一つは、われわれの開発したハードウェア、あるいはシステムが入ることによって、第2期以降、競合が入れなくなってしまうんですね。

こういったハードウェアをつくってしまうと、私の感覚ですが、市場規模で100億円から150億円ぐらいに線がある、そんな気がしています。どういうことかと言いますと、150億円のマーケットになってくると、大手さんが参入してくるんです。逆にそれより小さいと、大手さんに対して参入障壁があるんです。ここは一つ、われわれの売りでございまして、ですから、開発の部隊は、実は私の直属です。

最近、ちょっと毎週は出られないんですけども、その会議に出まして、そこで私が言っているのはただ二つです。

一つが、プライオリティを付けてくれ。何を先にして何を後回しといいますか、次にするかという順番をしっかりと付けよう。

それからもう一つ、このお話で、お客様の言うものを、お客様の満足するとおりつくって、一丁上がり、これをやっているのは、実は下請けです。そうじゃなくて、このお話の中で横に水平展開できるのはどこだと。そうじゃないのはどこだ、これを切り分けようと。横に水平展開できるものはどんどん水平展開をしていこう。

ですから、私どものホームページをご覧くださいまして、製品群が非常に分かりづらいところがあるんですね。何かと言いますと、例えば自動車会社様であれば、トヨタさんを例にとると、レクサスもカローラも同じ車です。非常に分かりいいのですが、私どもはどうもそうではない。ここは私どもが分かりにくくしている原因の一つかと思えます。

---

## サポート

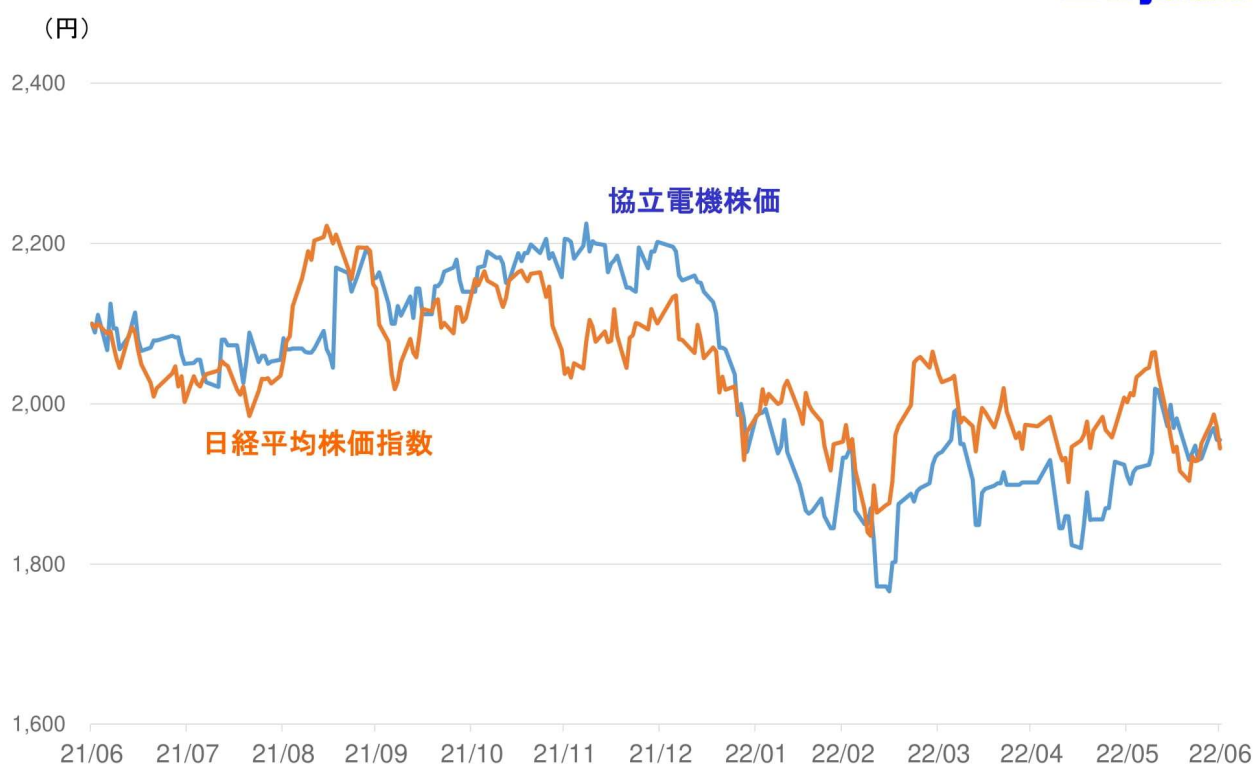
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



ただ、見る方が見ると明確な共通点があります。アナログ技術です。どういうことかと言いますと、アナログのデータ処理が実は得意です。確かに今、コンピュータで処理していくにはデジタル化をしないとできません。ただ、アナログデータをデジタルにする、これは実は簡単です。ちょっと言葉が過ぎますが、デジタルをおやりになられる方は、いっぱい腐るほどいるんですが、逆に言うと、アナログがおできになる会社はあまりない。われわれは、もう64年間ぐらい計測制御をやっておりますので、そういう意味ではアナログの処理が得意です。これも一つの売りでございます。

また、連結のROEですが、15%ぐらいを目標にやっていきたいなと思っています。8%が合格だよというお話もございますが、もうちょっと上げていきたいと思っています。

## 協立電機株価推移



(協立電機 月末終値)

21/06	21/07	21/08	21/09	21/10	21/11	21/12	22/01	22/02	22/03	22/04	22/05	22/06
2,100円	2,050円	2,082円	2,157円	2,140円	2,206円	2,202円	1,985円	1,933円	1,938円	1,902円	1,910円	1,955円

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

10 / 24

### サポート

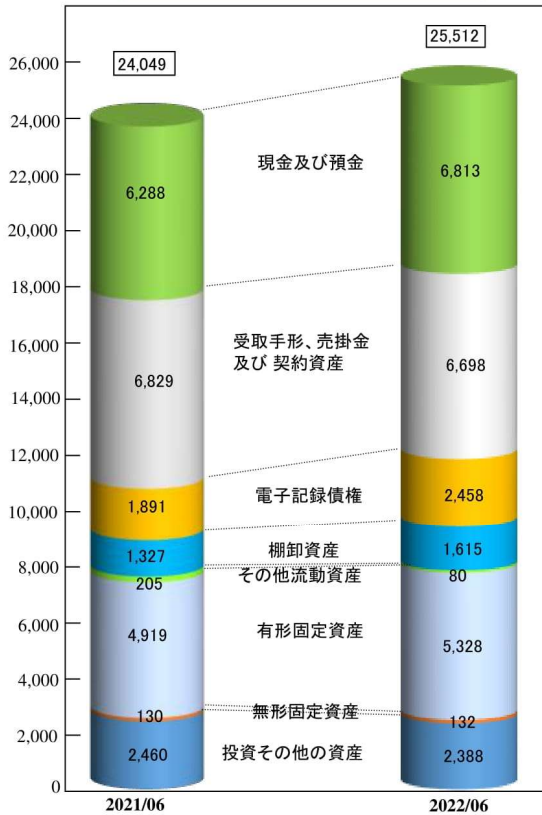
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



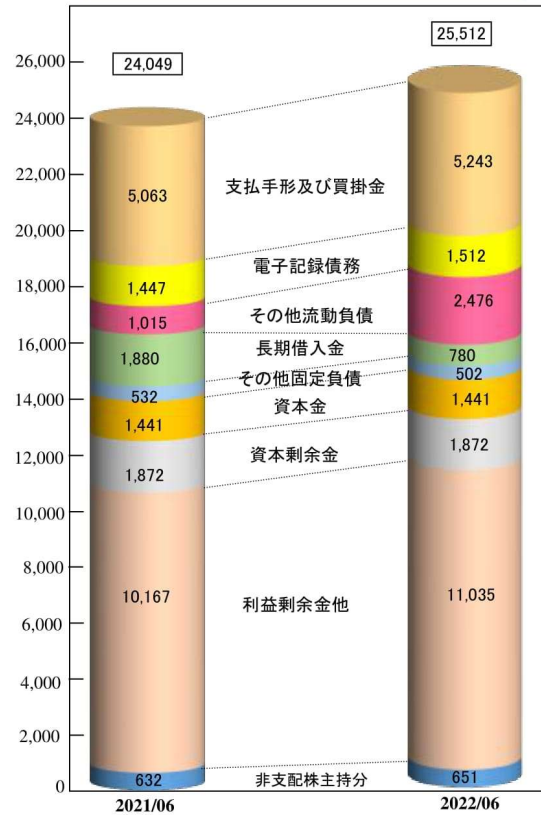
貸借対照表概要(連結)



資産の状況 (単位:百万円)



負債・資本の状況 (単位:百万円)



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

11 / 24

株価と B/S、P/L のところは省略させていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

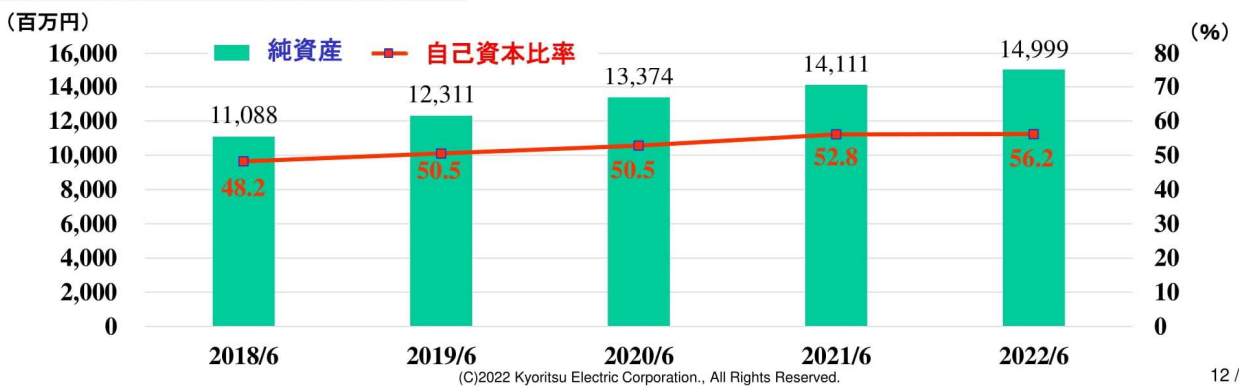




### 【配当金と配当性向の推移】



### 【純資産と自己資本比率の推移】

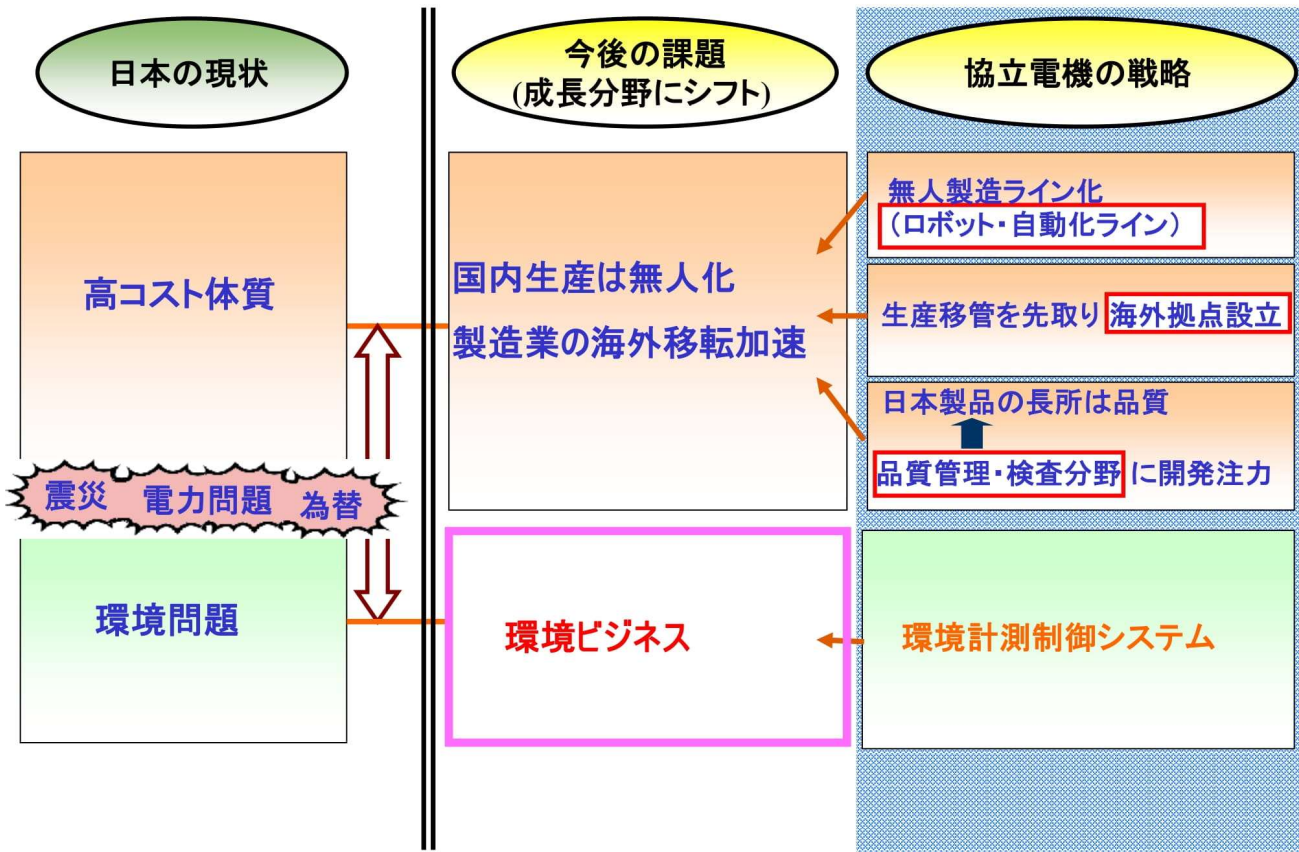


われわれは一つの政策として、安定的に配当を増やさせていただこうと。今年は、実は対前年に比べて10円アップの配当を予定しているんですが、それは先ほど申しあげましたような受注がたまってきているところも一つの理由でございます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

市場変化に対応して(成長戦略)



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

13 / 24

今、コロナが始まりまして、若干流れが変わったのかもしれませんが、間違いなく日本、いや世界も少子高齢化していく。正直言いまして、移民も一つの解決策ではありますが、なかなか言葉、文化の問題等々もございまして、必ずしもうまくいかない。となると、答えは自動化、コンピュータ化、ロボット導入、これしかないです。まさにこれがうちの商売でございます。そういう意味では、大変僥越ですが、時代の追い風を受けていると思っております。

ロボットに関してちょっと付け加えますと、ロボット、日本だと自動車産業に一番最初に入りました。自動車産業は、もう陣取り合戦も終わっています。今、少子高齢化というので、自動車以外のお客様からも、いろいろとお引き合いを頂戴しています。見ておりまして、あれっと思いましたが、ロボットをお使いではないお客様がロボットを入れる、そう考えると、ロボットって万能だと思ってしまうんですね。実はロボットってできないことのほうがはるかに多いです。

ですから、そこの幻想を打ち砕くという僥越な言い方ですが、実際どうなるかということをご説明申し上げていくということが、一つ、私どもの仕事なのかなと思っております。

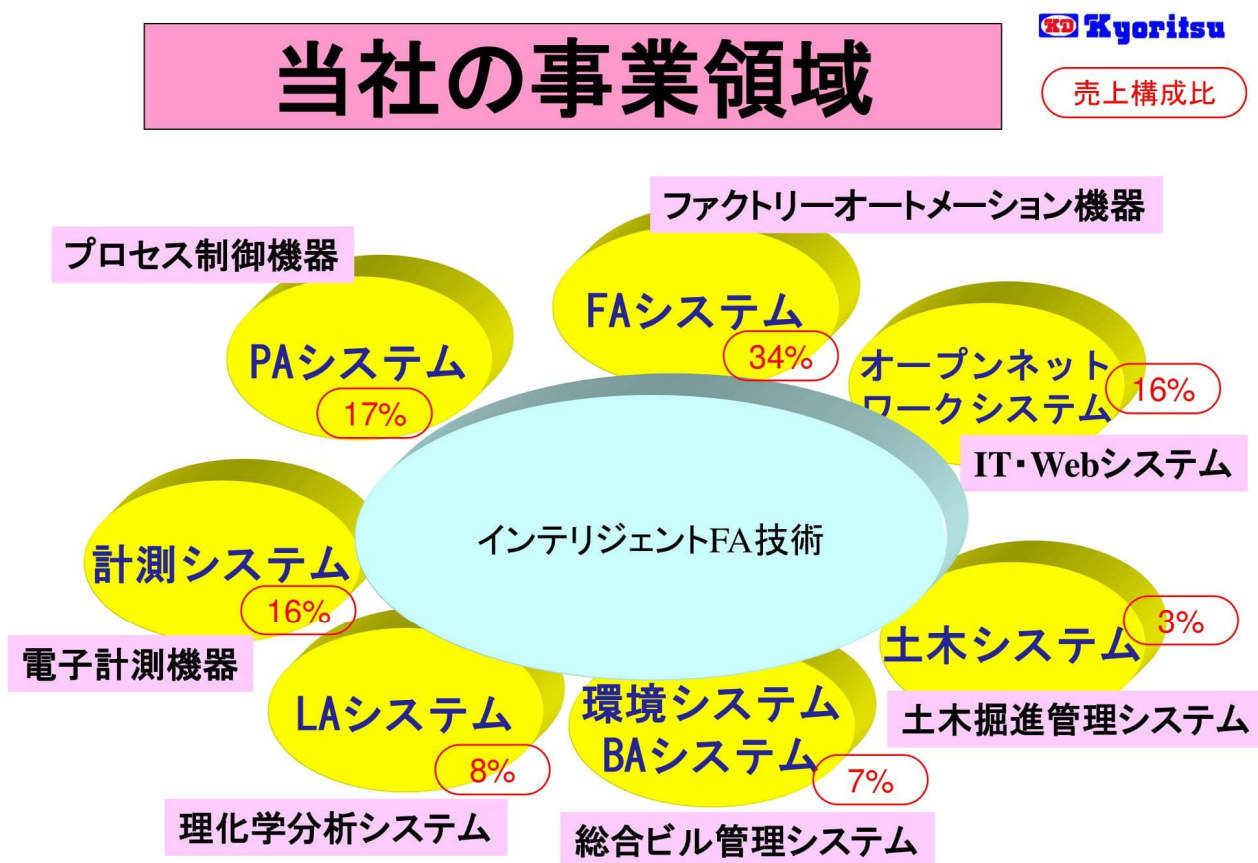
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



例えば、人間ですと3歳の子どもでもできるんですが、実は半年前までロボットにできないことがあったんです。何かというと、コンセントを挿す、あれはロボットにはできなかったんです。なぜならば、コンセントっていろいろな形態があり、また、そんなに精密じゃないんです。だから、われわれは手で探りながら入れていく。ロボットはこれができなかったんです。ただ、できるようになりました。毎年秋口にロボットショーがあるんですが、それに行きますと、どんどんロボットができることが増えていきます。

ですから、電機メーカーさんに行きますと、最終の組み立てラインだと人間がワッと並んでいて、コネクタを挿しているんですが、それがロボットに置き換わる、こんな時代はもう目の前に来ています。これは変わっていくと思っております。



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

14 / 24

われわれの事業領域ですが、これはわれわれの分け方なので、必ずしも世の中と一致しているのかどうか分かりませんが、左にあるPAシステム、これは、いわゆる装置産業、連続体制御をやっていらっしゃる、その中のFAシステムというのは、いわゆる組立加工業、そういうものが中心でございます。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

あと、いわゆる IT のところ、土木のところ。土木のことは後で申し上げます。それから公共の話、それから計測器の話、そのようなものを行っています。

今の IoT、Internet of Things、現場にセンサーを置いて、離れたところにコンピュータで、リモートで、有線か無線かは別にして、データを集めてきて処理をする。これは、実はこんなしゃれた言葉がある前から、私どもはやっていました。ただ、今の IoT、決定的に過去と違うところがあります。何かというと、高速に大量のデータが入ってきます。ですから、とても Excel なんかではやってられません。人間がやっている分にはとても追い付かない。で、出てきたのが AI ですね。

ニュートリノってお聞きになられたことがあるでしょうか。どういうものかということ、人工知能、ディープラーニングがあるんですが、人間の脳って、一つの刺激が入ってくると、それをニュートリノというか、網の目みたいなものを通して答えをだしてくる。それは実は昔から分かっていたんです。ところが、コンピュータにやらせると、突拍子もない答えを出してくるんですね。それをディープラーニングというやり方で正確にしていこう。一つのニュートリノを通して出てきた答えを、また次のニュートリノに通して、またその下のニュートリノに通す、これがディープラーニングというのですが、そういった技術がだいぶ発達してきました。

今の AI って、これからますます発展していくとは思いますが、まだこれが AI のエンジンだというのはないんですね。例えば、10 万人の中から 1 人の人間の顔を出してくる、探し出す、こういうのはコンマ 1 秒で見つけられるんです。

問題は、その人が悪いことをするかしないか。今だと、目がキョロキョロしている、挙動不審な感じがする。だからこの人を見ましようという話になるのですが、じゃあ、その人は悪いことをしようと思ってキョロキョロしているのか、はぐれちゃった自分の奥さんを探してキョロキョロしているのか、これは実は分からないですね。まだまだこれは進歩の余地はあると思います。

最近、量子コンピュータ、そのようなお話は時々新聞でも聞きますが、これは何かといいますと、今までのコンピュータと違いまして、例えばいろいろなやり方があります。一つが、Google さんや IBM さんがやっているゲート方式というもの。それからもう一つ、これは実は日本の NEC にいた方が考えたのですが、アニーリングという方式。

この他にもあるんですが、ゲート方式、これは本命です。ただ一つ、致命的な欠陥があります。素子をマイナス二百七十何度まで冷やさないと駄目なんですね。アニーリングというのは、組み合わせに得意だと言われています。どういうことかということ、例えば 30 個の都市があるとします。その 30 の都市をどう回ると一番効率がいいんだ。それを、この間まで神戸にありました京というスーパーコンピュータ、あれで計算させると 300 年かかるんです。ところが、アニーリングの量子

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



コンピュータで計算させると、一瞬で探す。1秒弱で答えを出してきます。そうすると、僕らはアニーリングの量子コンピュータってスパコンより速いコンピュータだと思ってしまうのですが、実は違うんです。

例えば、スーパーコンピュータが出してくる答えはベストなんです。アニーリングの量子コンピュータが出してくる答えは、ベターではあっても、ベストとは限りません。どういうことかと申しますと、大きな箱があって、そこにいろいろな形の積み木を詰め込んでいく。こういったことがあったと仮にします。そうすると、スーパーコンピュータって1個入れて、もう1個入れて、また1個入れて、どんどん入れていって、どこかで行き詰まると、最初に戻ってやり直しをしているんです。量子コンピュータはどうするかというと、大きな箱にいろいろな形の積み木を全部放り込んでしまうんです。それで箱を揺するんです。と、どこかで落ち着きますよね、それを答えとしてしまうんです。

どっちがいいか、これは難しいところがあるとは言えるものの、300年後のベストより、1秒後のベターのほうが私はいいんじゃないかなとそう思っております。こういった技術もどんどん出てきております。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 【協立電機の土木向けソリューション】

## ◆ 鋼鉄の筒に削岩機を取り付けたトンネルシールドマシン

日本が誇る  
先端技術



シールドマシン



シールドマシン運転席



トンネル坑内

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

15 / 24

これから製品のほうの説明に入らせてください。これは何かというと、トンネルを掘るシールドマシンという機械です。こういう機械自体は機械メーカー、三菱重工さんであるとか、IHIさんとかがおつくりになられていらっしゃる。われわれは何をやっているかということ、その中で制御というか、頭脳と言うと生意気ですが、土の中をどんどん掘っていきます。これは、掘るそばから周りを固めてしまうというシールド工法です。土の中なので見えません。真っすぐ、目的どおり進んでいるかという制御、これをやっております。

実は、なぜこんなのをおまえの会社は始めたのかという話なのですが、私ども、かつて清水に拠点がございまして、そこは港の商売をやっておりました。港が景気が悪くなり、彼らが陸に上がってきて、どうしようと考えました。何が使えるだろうと考えましたところ、ちょうど船の商売をやっていたので、船って当時から、海の上に行くと、GPSで自分の位置を決めていたんですね。それを応用できないかというところから始めたのがこれです。

ですから、地上の1カ所をGPSで決めて、そこから穴を掘って周りを固めていながら制御をしていくと、こういうやり方です。このとき、カーナビに気が付いていると、今頃ニューヨークに上場していたのではないかと、いまだ悔しい思いをしております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

Grid・Greenとは...

**Grid・Greenは**  
**照明・空調を電力線通信/LANで制御**

ICT技術による制御で最高の省エネを実現！

・個々の照明に電力線通信機(PLC)を接続、  
きめ細な個別制御。

効果が高く、投資回収が速い



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.



16 / 24

これが、もう一つ、Grid・Greenと呼んでおりますが、何かというと、例えばオフィスの中、小さな部屋だったらいいんですが、広い部屋ですと、例えば天気の良い日は窓際の蛍光灯はちょっと暗くしてもいい。それから、逆に夜はみんな明るくしなきゃいけないけれども、昼間は暗くしてもいいじゃないか、そういうことはあります。

新しくオフィスを建てる、工場を建てるのであれば、さあ、最初からそういう制御線を這わせて配線してしまえばいいですが、もう既にできたビルにはそれはなかなかやりづらい。なぜかという、天井裏に潜って作業をしなければならない。お金がかかってしまう。われわれは、その蛍光灯に電力を供給している電灯線、電力線、それに制御信号を乗せる、俗に PLC 方式と言いますが、Power Line Communication、その製品を出させていただいております。

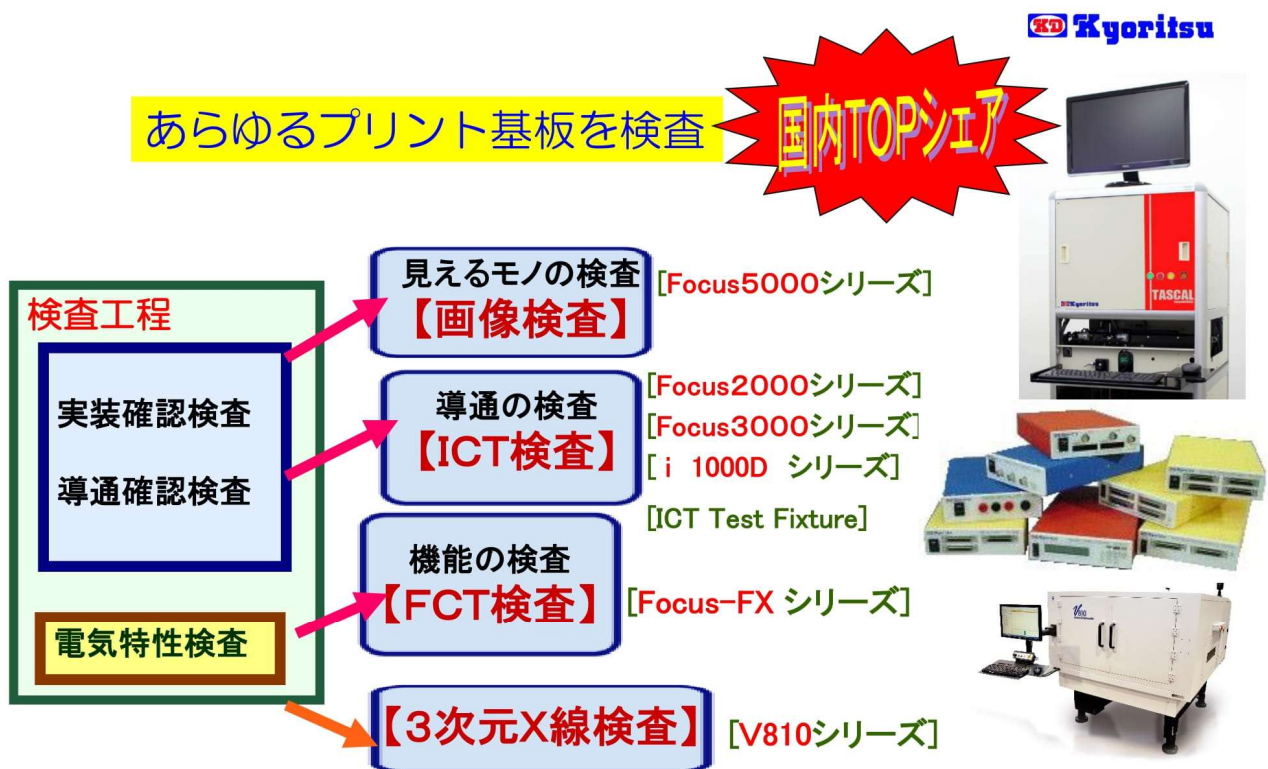
これは実は、ちょっと前まで、日本で PLC をやっていたのは、パナソニックさんとうちだったんです。パナソニックさんは、家庭用の LAN に PLC を使った製品を出していらっしゃいました。どういうことかということ、家庭の中、電灯線は必ず電力線が走っていますから、そこに LAN の信号を乗せてしまえば、新たな配線工事は一切要らないというのをやっていた

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

のですが、無線 LAN、Wi-Fi ができてしまいまして、あまりパナソニックさんは最近ご熱心じゃないようで、私どもはそのようなことでやらせていただいています。

これは、当初は工場の中の省エネを考えていたのですが、いや、実は入れていただいた後気が付いたのですが、一番のお客さんは鉄道会社なんです。どういうことかということ、確かに言われてみますと、駅って営業時間中、ずっと蛍光灯をつけっぱなしなんですね。天気の良い日もあれば雨の日もある。それはまた日がよく当たるところもあれば、比較的そうじゃないところもある。ということで、そこで応用をしようというお話で、ご注文を頂戴しております。



**KD 協立テストシステム株式会社**

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

17 / 24

それから、これが私どものグループ会社がやっております、半導体の試験装置。半導体の試験装置といいますと、半導体そのものの試験をお考えの方もいらっしゃるのですが、われわれは実は違います。半導体って、基板という板にはんだ付けをしまして、それをいろいろな機械に組み込んでいく、その基板の検査です。もっと言うと、その基板にちゃんとはんだ付けができていないかというインサーキット・テスト、それから、仮にはんだ付けがちゃんとできていたとしても、不良の部品が混じっていないかという、ファンクションチェック、この二つがございます。私ども、実は二つともやらせていただいています。

**サポート**

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com





一番いいのは、半導体の基板に直接ピンを当てて、そこで通電する、電気を流す、これが一番確実に検査ができるんです。ところが、最近、皆さんお使いのスマートフォン、どんどん小さくなっていきますよね。そうすると、そのピンが電極にうまく当てられなくなってしまったんですね、小さくなってしまって。どうするかというと、次に、写真をカメラで撮ります。OKのパターンと、パターンマッチングをする。

ところが、最近、基板が2層、3層、3次元になってきました。そうになると、カメラで見ても分からない。じゃあ、どうするのか。X線を当てます。X線を当て、中を見る。この三つのやり方があるのですが、この全部の方式を持っているのは、世界で私どもだけです。

もう一つ、実はやり方がありまして。フライングプローブというのですが、四つぐらいの接点でしようか、それがポコポコと動いていって検査していくというやり方。これは実は私どもは持っていませんでした。なぜ持っていないかということ、これは遅いんです。オンラインで検査するのは遅くて付いてこれないんです。それでなかったんですが、最近、ますます部品が小さくなっちゃったものだから、これも必要かなということで、今、開発している最中でございます。

このところ、半導体が世界で非常に不足しております。そういう意味ではどんどん集中が進んでいると同時に、もう一つの大きなマーケットができております。自動車なんです。自動車って、ちょっとこういう言い方は自動車会社さんに失礼になってしまうんですが、あまりマスコミの方はおっしゃらないですが、今度の半導体不足、実は自動車は深刻です。

さらに深刻なのは、普通、日本の場合、何かものが足りなくなると、まず自動車産業から優先的に供給したんです。裾野が広いから。ところが、自動車、今回多分最後です。なぜかということ、半導体って、ウエハーという円盤から切り出すのですが、今の主流は12インチのウエハーなんです。ところが、自動車用って8インチなんです。TSMCさん、いまさら8インチの2世代前の設備投資をするはずがありませんから、多分最後になります。

という意味で、ちょっと自動車は深刻ですが。ただ、EV化してくると、もう基板を使わざるを得ない。例えば、僕はスマートフォン持っていて、うっかり手が滑って池の中に落としちゃった。落とした自分が悪かったと、壊れても諦めますよね。壊れてもしょうがないよと。ところが、自動車はそうはいきませんよね。雨の日だって、走らなきゃ困ってしまうわけです。雪が降ったらエンストじゃあ困ってしまいます。だから、そういったヘビーデューティの工程に使える基板、さらに基板がもっともっと小さくなると同時に、自動車は振動と熱が出ます。そこに耐え得るようにしようというので、実はこの間、浜松のほうに次世代自動車開発センターがございまして、そちらで講演しろというお話を頂戴しまして、この基板検査装置の講演をさせていただきました。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



大変失礼ですが、やはり自動車の基板ってスマホより2世代前のイメージです。ただ、もうその時代は目の前を通り過ぎていきます。そこで、いろいろなお話、例えばこういう振動はどうなんだとか、こういうふうに熱を加えたらどうなんだと。もう一つ、小さくするには、部品を小さくすると同時に、部品の配置の密度を濃くする、つまり部品と部品の間隔を小さくしないと駄目なんですね。部品と部品が近づくと、いろいろなノイズが発生します。そのノイズをどうやって取るんだ、いろいろなお話を頂戴いたしまして、確かにこれはこれからのマーケットなのかなというのを実感した次第でございます。



## レーザドップラ振動計のラインナップ (世界最高精度)

エレクトロニクス技術

オプティクス技術

回転体測定物対応



回転体レーザドップラ振動センサ  
V2001

微小測定物対応



顕微鏡型レーザドップラ振動計  
KV100シリーズ

画像によるモニタ可能



CCD型レーザドップラ振動計  
CV100シリーズ

Melectro

THE FINE TECHNOLOGY COMPANY  
電子技研工業株式会社

(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

18 / 24

もう一つは、振動計です。われわれはグループでやらせていただいているのですが、普通、振動計ってどうやるかという、一つのものの振動を測ろうとしますと、そこに鏡とか、あるいは銀色のテープを貼り付けます。そこに光を当てまして、その光の反射光を見るんです。ところが、大きいものだったらいいですが、小さいものだと、鏡を貼った瞬間に重心の位置が狂ってしまうんですね。それが使えないし、正確なものが測れないというので、私どもはレーザドップラを使った振動計をつくっています。非接触型です。これは、実はドイツに競合がいらっしゃいます。確かに中

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



国もすごいですし、アメリカの技術も素晴らしいものがありますが、ドイツも侮れないというところもちょっと言い過ぎですが、やはり力は本当にあります。

ドイツと日本って結構似ている文化風土があるんですね。とても技術者を大事にします。尊敬されています、技術者は。そういったところから、技術って生まれてくるのかなと、そういう気がしています。

## 魚をセンサとした水質連続監視装置 ユニレリーフ UNI RELIEF



 **Kyoritsu**

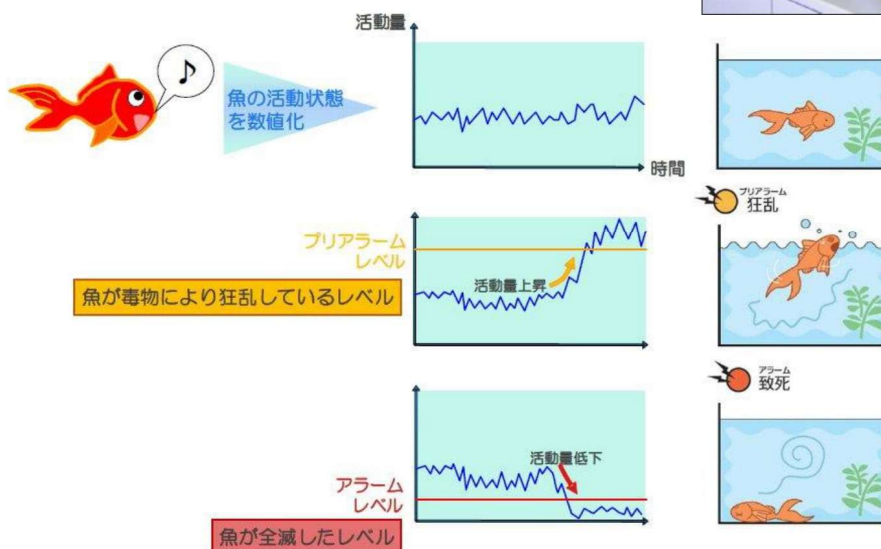


【ユニレリーフとは？】

水の安全を監視する装置です。  
水に危険なものが入っていないか24時間連続で監視を行います。

【特徴】

魚の活動量を数値化！（活動電位を検出）  
濁っていても問題無し！（荒天時の取水もOK！）



19 / 24

もう一つが、ユニレリーフと申します。何かというと、水の安全を検査する試験装置です。ですから、お使いいただくのが、官公庁の上下水道、あるいは大手の食品メーカーさんがやはり中心となっています。

何かといいますと、本当に水槽で金魚が泳いでいるんですよ。水が濁ってくる、あるいは水に危険なものが混入してくると、金魚が苦しくなって暴れるんですね。そうすると、水槽の微少な磁界が、電界が変化するんです。それを測って試験をしております。

この金魚が泳いでいるというのは、JIS で決められた試験方法なんです。40 リットルの水槽に何をどう入れてというのがありまして。それを利用してやらせていただいています。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

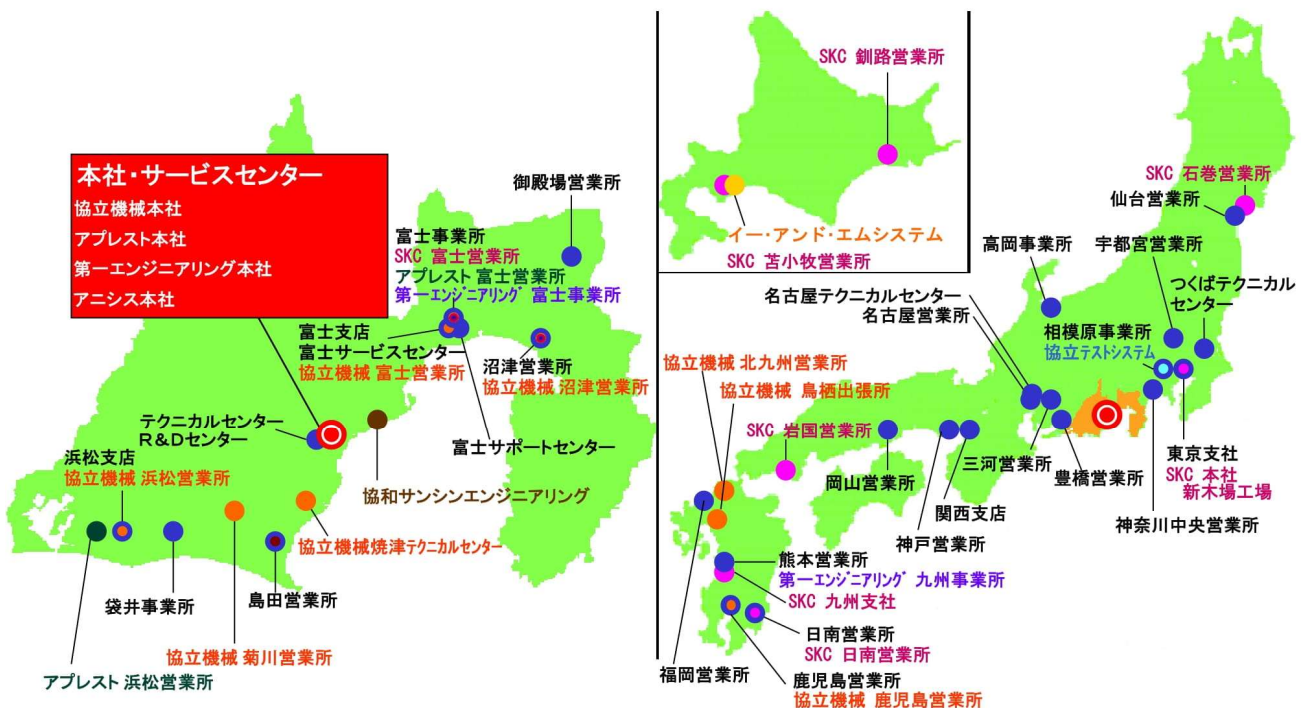
これは、競合が九州にいらっしゃるのですが、そちらはメダカをお使いです。違いは金魚とメダカの違いではないです。メダカって、なぜか知りませんが、水が悪くなったり、あるいは敵が来ると、みんなで集まって、体を大きく見せるという、そういう習性があるそうです。それをカメラで見て応用していらっしゃいます。これも非常に素晴らしいと思いますが、ただ、このやり方は、水が濁ると使えないんですね、カメラが見えなくなってしまうから。私どもは、水が濁ってもできます。ここで宣伝してもしょうがないですけど、というところをやらせていただいています。

これを、先ほど海外のところで、海外は為替リスクだけではなくて政治リスクもあるというお話を申し上げました。実はこのユニレーフをやっている、日本国にも政治リスクがあったんだということを知りました。

もう随分前ですが、東京オリンピックの前です。ちょうど都知事選があって、小池さんが新しく知事になられたのですが、あの前に、このお話、都庁の水道局に大量にというお話を頂戴したのですが、都知事選があって、そこにお金を使ってしまうというので、先延ばしになってしまっていて、日本にも政治リスクがあるんだなということを知った次第でございます。



## 国内セールスサポート拠点



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

21 / 24

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



国内の拠点でございます。静岡県が発祥の会社なものですから、静岡県には拠点が結構ございます。ただ、絶対とは申し上げませんが、静岡県に拠点をつくることは、もうないのではないかなと、そういう気がしております。

国内は、いろいろとございますが、ちょっと薄いのが、いわゆる日本海側、それから瀬戸内海のところ。ここをどうしていこうかというのが一つのわれわれの課題だろうと思っております。

ただ、先ほど申し上げました、お客様が製造業であるとなると、国内に回帰してくるということは、どうでしょう、厳しいのかなと、そんな気もしております。ここはまさに判断になるところだと思っております。



(C)2022 Kyoritsu Electric Corporation., All Rights Reserved.

23 / 24

これが海外の拠点でございます、ご覧のように、東南アジアに圧倒的にございます。その中で、北米に、カナダ、これはトロントですが、ポツンとあります。ここだけ実は変わった拠点でございます、いわゆるグループ全体の中央研究所の役目をしております。カナダのトロントって、ご存じのように五大湖の上のほうにあります。なぜか知らないですが、五大湖を越えてアメリカ本土の

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



合衆国に入ると、急に人件費がポカンと上がってしまうんですね。トロントって比較的安いんです。

さらに、トロント大学って結構理科系では優秀な大学です。ですから、先ほどの AI とかディープラーニング、この辺も実用化したのは、実はトロント大学です。なぜそうなったかという、もうなくなってしまったのですが、カナダにかつて Nortel という巨大な通信メーカーがございまして、その中央研究所がトロントにありました。その関係かと思っております。

ですから、トロントにまいりますと、こちら、トロントというのはちょっと見栄を張ってました。本当はトロントのお隣のリッチモンドヒルというところにあるのですが、デンソーさん、あるいは AMP さんという、そうそうたる大会社の研究所がいっぱいあります。その中の片隅に私どもがいると、そういうような感じでございます。

以上、ちょっと駆け足ではございましたが、終了させていただきます。どうもありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com